

文化七尾



第66号



「熊来海の朝」

七尾西湾の寒い朝、朝陽と気嵐の出る場所で運が良ければ立山遠望を見ることが出来る撮影スポットです。

撮影者：澤井 一栄（写団のと） 撮影地：中島町

令和4年度 第17回 七尾市文化協会賞



(七尾・香島津太鼓のみなさん)



【文化賞】



〈部門〉民謡民舞
〈所屬〉七尾まじろ保存会
杉田 安生 氏

19才でまだらの魅力を感じ、30才で「春風会」に入会。その後、当会会員。平成28年より理事、事務局長として会の要職を務める傍ら、市内保育園、小中学校で指導に尽力された。また、日本民謡協会民謡民舞の全国北陸大会で優秀な成績を収め、平成24年には日本民謡協会より民謡貢献章を授与された。



【文化賞】
〈部門〉邦楽
〈所屬〉宝生流謡宝会
船本 嘉人 氏

50年余りの間能楽の習熟に努め、普及にも一定の成果を挙げた。中でも平成6年自身の稽古舞台を持ち、玉川同門会七尾教場として提供。また、玉川博先生没後平成30年に当会を立ち上げ、会長として後進の育成に努めている。現在、金沢能楽会に在職。

【文化賞】



〈部門〉美術工芸
〈所屬〉一聖会
井上 梅光 氏

理事として会の中心となり、献身的な努力を重ね、会の運営をする姿は他の追随を許さないものである。また、現代美展入選、読売書法展入賞会友、日本書芸院展入賞など数多くの展覧会に出品を続ける中で日本書芸院教師や日本書道学院かな部師範の資格を得ている。



【文化賞】
〈部門〉邦楽
〈所屬〉能楽宝生流栄譽会
本田 裕美 氏

昭和55年に当会へ入会、毎年 の発表会及び広域能楽団体の大会において40回の出演を重ね会の発展に寄与した。また平成20年より10年間「七尾市こども能楽教室」にて小学5年生、中学1年生に謡や仕舞を指導する中、平成23年に「教授嘱託」の免状を受領し、後進の指導に励んでいる。

【文化賞】



〈部門〉美術工芸
〈所屬〉七尾美術作家協会
村上 順徳 氏

金沢美術工芸大学彫刻科在学中に得能節朗氏、(故)石田康夫氏に師事。昭和54年日展初出品。昭和60年日本彫刻会初出品。平成2年から七尾美術作家協会に入会。現在は石川県美術文化協会会員、七尾美術作家協会事務局を務めている。



【功労賞】
〈部門〉邦楽
〈所屬〉吟道錦城流
七尾城山詩吟会
長井千恵子 氏
(雅号 千城)

平成7年に入会、平成20年には石川県吟詩舞道総連盟会員になる。平成24年吟道錦城流師範取得。平成30年に総本部理事。その間全国、北陸の各大会に率先参加すると共に、当会の運営、会員の指導育成に尽力された。



【功勞賞】
 (部門) 民謡民舞
 (所屬) 七尾まだら伝承会
 齊藤 秀雄 氏

第三代会長として七尾まだらの保存伝承のため、後継者を育成。また、数多くの施設慰問により七尾まだらの発表を通じて楽しく過ごしてもらおう一時の提供に尽力した。指導普及のため能登島、東湊の両小学校へ出向く。他に南砺市福野芸能祭で発表し、文化交流に尽力された。

【奨励賞】 (部門) 邦楽

活動歴 20年

七尾・香島津太鼓

平成15年に設立し20年間和太鼓の伝統文化の継承や後継者の育成をする中で、技術向上はもとより礼節を養い、健全な青少年を育てる目的で指導している取組は他の太鼓団体の模範となっている。また、東京国際和太鼓コンテストでは数々の賞を受賞、能登地方での競技大会において2人打で最高峰の賞をチームのメンバーが受賞した。

令和5年 新春の集い

七尾市文化協会の「令和5年新春の集い」が、去る一月十四日(土)に会員等二百名が参会し、和やかに開催されました。

今年は管弦楽団オルビスNOTOによる祝賀曲「アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク第一楽章」で幕を開け、中西清一文化協会長が挨拶。続いて茶谷義隆七尾市長ほか来賓の祝辞後、佐藤喜典七尾市議会議長が乾杯の発声をし、今年一年の活躍を祈念しました。

アトラクションでは七尾まだら保存会、清和流剣と舞による演目が催され、華やいた雰囲気の中、会員相互の親睦を深める宴となりました。



第21回 能登あかくら山 田鶴浜俳句大会

- | | | |
|----------------------------|-----------------|------------|
| 七尾市文化協会田鶴浜支部長賞 (赤島 磨智子 特選) | 浪々と千古より継ぐ若清水 | 能登町 宮下 末子 |
| 七尾市文化協会会長賞 (赤島 磨智子 特選) | 一歩づつ登る神山露涼し | 珠洲市 松本 寿憲 |
| 等伯会 会長賞 (松本 慶子 特選) | 手引き書は母の手書きや梅と干す | 白山市 竹中 昭子 |
| 能登鹿北商工会会長賞 (松本 慶子 特選) | 万緑の池に祈りの鐘響く | 金沢市 金子 慶一 |
| 七尾商工会議所会頭賞 (高岡 幸子 特選) | ラヂオより「少年時代」雲の峰 | 白山市 宮城ゆき子 |
| 北國新聞社社長賞 (高岡 幸子 特選) | 義経の笛守る社式部の実 | 珠洲市 水上きみ子 |
| 七尾市教育長賞 (長徳谷 とし 特選) | 故郷のほつと寝ころぶ夏座敷 | 金沢市 金子 慶一 |
| 七尾市議会議長賞 (長徳谷 とし 特選) | 尊敬は父と言ひし子ソーダ水 | 能登町 道下富美子 |
| 七尾市市長賞 (中川 雅雪 特選) | 鮎焼くや裏に川魚供養塔 | 野々市市 小林 清枝 |
| 石川県教育委員会賞 (中川 雅雪 特選) | 一輛車青田に染まりつつ走る | 白山市 森 悦子 |
| 石川県議会議長賞 (西田 さい雪 特選) | 一村の一枚となる青田かな | 金沢市 向江 文子 |
| 石川県知事賞 (西田 さい雪 特選) | 三年振り祭にかける心意気 | 金沢市 篠島 安子 |

事業名	日時	主催者・会場名	内容
第20回 石川県NOTOピアノコンクール入賞者演奏会	3月19日(日) 13:00 開演 (12:30開場)	主催 石川県 NOTO ピアノコンクール 実行委員会 会場 七尾市文化ホール 大ホール	2022年8月6日7日に行われた第20回石川県NOTOピアノコンクールの入賞者による演奏会です。幼児から一般まで29組31名が出演します。どなたでも聴きになれますので、ぜひご来場ください。 入場料/無料 ☎53-0001 石川県NOTOピアノコンクール事務局 榎ミヤコ内
十三詣り	3月26日(日) 10:00 開始 (9:00開場)	主催 きもの文化21 プロジェクト 会場 妙観院(七尾市小島町)	数え年13歳は古くから元服と呼ばれ子供から大人への節目の時期に当たります。これまで健やかに成長できたことへの感謝と大人への仲間入りを祝う行事です。出来れば女子は着物での参加をお願いします。 メイクはプロが行いますが無料です。 ヘアセットと着付が必要な方は各々2,000円。 コロナ禍で3年間開催できませんでしたので、平成20、21、22、23年生まれの方、ご参加ください。 入場料:無料(準備の都合上、電話による事前申し込みをお願いします) ☎53-0348 森 善
第144回 例会 劇団民藝+こまつ座 公演 「ある八重子物語」	4月8日(土) 17:00 開演 (16:30開場)	主催 七尾演劇鑑賞会 会場 七尾市文化ホール 大ホール	舞台は戦前から戦後にかけての東京の下町、柳橋の古橋医院。ここに集う人々は水谷八重子を心酔する院長を筆頭に大の新派マニア。水谷八重子の芸と生きざまに魅せられた人びとを、「井上ひさし」が爆笑とユーモラスな筆致で描く傑作戯曲! 出演:篠田三郎・有森也実 ほか 入場料/会員制:一般2,500円/月、高校生以下:800円/月 ☎52-0843 七尾演劇鑑賞会
第6回 加地求 洋画教室展	4月17日(月) ~4月21日(金) 9:00~18:00 (最終日は15:00まで)	主催 加地求 洋画教室 主宰 加地求 会場 のと共栄信用金庫本店 ギャラリーかわも	昨年4月の第5回教室展以降に描いた8人の作品を発表します。人物、風景、静物など写実画を中心に約30点を展示しますので、ぜひご来場、ご高覧下さい。 入場料/無料 ☎52-1613 主宰 加地 求
石川県NOTOピアノコンクール20回記念演奏会 室内楽・協奏曲の愉しみ ~オーケストラ・アンサンブル金沢の奏者との共演~	6月4日(日) 13:30 開演 (13:00開場)	主催 石川県 NOTO ピアノコンクール 実行委員会 会場 七尾市文化ホール 大ホール	2003年から始まった石川県NOTOピアノコンクールはおかげさまで2022年8月に20回目を迎え、のべ2,000名以上の方にご参加いただきました。この演奏会では第16~20回コンクールの上位入賞者(27組30名)がオーケストラ・アンサンブル金沢の奏者と共に室内楽や協奏曲にチャレンジします。ソロとは違った華やかなステージをお楽しみください。 入場料/無料 ☎53-0001 石川県NOTOピアノコンクール事務局 榎ミヤコ内

※諸事情により、行事・イベントは中止・変更の場合があります。



いしかわ
百万石
文化祭
2023

いしかわ百万石文化祭2023 七尾市イベント

第49回 七尾市民音楽祭

◆日時 令和5年3月5日(日)

開場 9時 開演 10時
終演 15時30分(予定)

◆会場 七尾市文化ホール 大ホール

主催 七尾市文化協会
共催 七尾市教育委員会
主管 七尾市文化協会音楽部門運営委員会
後援 七尾市 北國新聞社 ラジオななお
MRO北陸放送

特別出演

オーケストラ体験成果発表 指揮 碓山隆一郎

出演団体

七尾まだら保存会、大正琴なな華、彩の会、能登祥吟会中島教場
清和流剣と舞、七尾豊年太鼓、青柏民謡会、七尾まだら伝承会
藤本流三味線藤本秀美由社中、吟道城山流吟詠会、城山民謡会
琴城流大正琴能登琴静支部、川への祈り実行委員会
吟道錦城流七尾城山詩吟会、七尾香島津太鼓、七尾民謡会
(出演順)

第55回 七尾文芸のつどい

◆日時 令和5年6月25日(日)

俳句・川柳:10時より受付
短歌:12時より受付
表彰式:15時30分開式予定

◆会場 七尾市文化ホール
第12、13、24会議室

題 [短歌] 自由詠 ※応募数 1首
[俳句] 兼題「十葉」「蝸牛」
[川柳] 宿題「予防」「ほめる」「出会う」

募集期間 令和5年3月1日(水)~31日(金)必着
応募方法 必ずハガキでご応募ください
応募先 〒926-0021 七尾市本府中町モ64 池田家内
七尾市文化協会「七尾文芸のつどい」係宛て

◆◆ スポーツと文化のコラボレーション ◆◆

昨年秋の男子バスケットボール B3 リーグ金沢武士団のホームゲームにおいて、七尾豊年太鼓保存会(10月)、七尾・香島津太鼓(11月)がオープニングセレモニーに出演しました。

勇壮な太鼓の演奏は選手の方々にも好評でした。3月には能登和倉万葉の里マラソンステージイベントにも協会所属の音楽団体が出演いたします。

◆◆ 丸亀市文化協会との文化交流事業 ◆◆

七尾市の姉妹都市である丸亀市の文化協会とはコロナ禍で交流が困難な状況が続いておりましたが、オンライン会議等で互いの情報交換をしてきました。そして、令和5年度は元年度の丸亀市訪問以来、実に4年ぶりの交流を行います。11月下旬に丸亀の皆さんを七尾にお迎えし、施設見学や交流会、合同コンサートなどを行う予定です。どうぞふるってご参加ください。(詳細は追ってお知らせいたします)

発行 七尾市文化協会

〒926-0021
七尾市本府中町モ64池田家内
TEL 53-0596 FAX 54-8550
Eメール: mail@bunka-nanao.jp
ホームページ: http://www.bunka-nanao.jp

編集委員 坂井善久 豊島綾布

発行日 2023(令和5)年2月24日(年2回発行)

会員のみなさまへ

※『文化七尾』次回は令和5年9月発行予定です。

表紙題字:清水 聖鵬